# 市政のここが聞きたい　一般質問

第4回定例会の一般質問は、12月5日～8日の4日間にわたり行われ、23名の議員が当面する市政の課題や運営について、市長の姿勢や考え方をただしました。主な質問・答弁は、次のとおりです。

## 民主・市民クラブ

### 改革を進め、活気あるまちに

**野島　議員**

——東久留米発！全国に先駆けた改革の発信とさらなる構造改革を。

**市長**　これまでの取り組みを維持・継続するとともに新たな改革的取り組みについても引き続き積極的対応を全庁に求めていきたい。

——人件費の削減策として55歳昇給停止の検討を。

**職員課長**　東京都も現在は行っていない。今後その時代と我が市に合った方法等を常に考えていきたい。

**総務部長**　これまで、同一経済圏での東京都人事委員会勧告に合わせた給与制度を進めてきている。

——公共施設の有効利用に関し、①本庁舎7階会議室の活用策、②市民プラザ利用時間区分の工夫を。

**総務部長**　①行政財産であり、一般市民に貸し出しできない。理解願いたい。

**市民部長**　②利用者の声を聞き、指定管理者とも協議しながら、あるべき方向を研究してみたい。

### 幹線道路の安全確保を万全に

**細谷　議員**

——長寿社会への市の対策に関して、市内初の介護老人保健施設「ケア東久留米」とどのように協力・連携していくのか。

**健康福祉部長**　同施設は、19年3月に開設と聞いており、同時に在宅介護支援センターを開設していく予定。今後は市内4カ所の特別養護老人ホームと同様、施設サービスが必要な人はもとより、同サービスを利用しない市民も施設開設の恩恵を享受できるような取り組みについて、運営法人とともに考えていきたい。

——所沢街道・小金井街道・新青梅街道等の主要幹線道路を通学区域とする児童・生徒の安全確保は。

**教育部長**　広い道路等の場合、必ず信号があるところ、横断歩道橋があればそれを使用する形で通学路の指定を行っている。

**都市建設部長**　狭隘個所等の改善につき、今後も東京都に要請活動をしていく。

新成人に感想を聞く小学生司会者

### 道徳副読本の配本と活用実態は

**田端　議員**

——学力向上の取り組みと朝学習の実態は。

**教育部参事**　各学校において少人数指導、TTの活用をした授業の充実等、児童・生徒一人ひとりの学習ニーズに応える手立てを工夫している。朝学習は中学校では始業前の朝読書など、小学校では計算・漢字などのドリル時間等を設定しているところが多い。

——道徳副読本の配本と活用、教師の自作教材の実態は。

**教育部参事**　各学校が選択した出版社のものが全校の全児童・生徒に配本され、自作資料や視聴覚教材による授業もあるが、中心的には、副読本記載資料を活用し授業が行われている。

——駅周辺の恒久的駐輪場整備をどう進めるのか。

**地域政策課長**　今議会に整備基金条例の提案をしたが、民有地が土地利用転換される前に買い上げ、整備していきたい。

### 夢と希望あふれる将来像を

**並木　議員**

——ホームページ等で団塊世代の情報の交流ができるような施策を。

**市民部長**　市民自らが発信・共有できる情報の拠点となるコミュニティサイト構築の中で検討したい。

——東部地域の都市計画道路の整備予定は。

**都市建設部長**　東3・4・20号線は、新座市側が22年開通の見通しであり、築造予定の25年までの間、宝泉寺通りの暫定的な受け入れ体制を考えていく。都施工の東3・4・15の1号線の現時点での事業計画は未定と聞いており、早期整備に向け働きかけていきたい。

——落合川・黒目川合流地点のスポーツセンターに隣接する空閑地利用計画は。

**都市建設部長**　現在、両河川に関連する調整池工事が施工中または予定されており、工事完了後は公園に復元するが、現状では水に親しめる公園整備は難しいと認識している。

### 緑の大切さと生活空間の整備は

**岸　議員**

——緑を守り育てるため、今後、自然と調和した計画的な都市的土地利用をどのように進めるのか。

**市長**　平成10年に緑の基本計画を策定し、重点事業の一つに樹林地の保護を位置付けた。19年度は同計画の見直しを予定しており、環境審議会への諮問とともに市民・団体から多様な意見を聞き検討を進めたい。

——西妻川の整備方針（黒目川から白山公園への遊歩道整備）は。

**都市建設部長**　市長が答弁した緑の基本計画見直しの中の課題ととらえている。

——学校適正化計画対象校の今後の方向性は。

**教育部長**　第八小は都立六仙公園の進捗、受け入れ校計画の状況等、総合的に判断する必要がある。第四小・下里小は、学校適正配置等に関する懇談会報告書を踏まえ、地域の状況を勘案し、保護者・地域住民・学校関係者とも十分連携し今後の方向性を出したい。

### 学校の再編成計画を早急に示せ

**小山　議員**

——都市計画道路10カ年整備計画で選定された優先路線以外の路線の整備はどうするのか。

**助役**　優先路線は、広域的な考え方に基づき、東京都等と協議した上で選定している。外れた地域を決して忘れた訳ではない。次の第4次計画等にどう取り込んでいくか考えていきたい。

——黒目川・落合川のネットワークを図り、さらなる「リバーサイド歩くるめ」のPRをすべき。

**環境部長**　緑の基本計画の中でも散策路が計画されているが、19年度見直しの中で検証し、ネットワーク構築を検討したいと思う。

——中部地域の学校再編成計画を早急に示すべきと思うが見解は。

**市長**　そう遠くない将来、方向を定めるべき時期に来ていると思う。教育委員会と十分協議し、課題を整理し、関係者とも協議の上、判断したいと考える。

### 改革・改善に努め財源確保を！

**篠宮　議員**

——今後の行財政運営に関し、①19年度財源確保の見通しは、②市町村総合交付金を活用する努力をせよ。

**企画経営室長**　①12月末に予定される地方財政計画等の歳入見込みが確定した段階で最終調整を行いたい。②我が市の改革努力をさらに主張し、交付金獲得に向け努力したい。

——生活道路等の雨水排水対策を。

**管理課長**　今年度、第八小西側の水路敷を整備する。市道2310号線は、来年度、グレーチングの設置等を検討したい。

——商店街の活性化策に関し、即効性のある駐車場支援・宅配事業等を基本に商店会長との連絡会に臨むべきと考えるが見解は。

**産業振興課長**　各商店街へ6項目の支援策を提案しているが、個々の商店街でできる事業が提案されれば、19年度予算に反映できればと思う。

## 公明党

### 歩行者の安全を急ぐべき

**藤本　議員**

——安全な歩道確保のため、①都道234号線・市道226号線（北口駅前通り）の破損した石ぶたの交換等、②門前通りの電柱の移設、③狭い歩道上に電柱がある宝泉寺通りの整備予定を伺う。

**都市建設部長**　①都道は、早期の改善を東京都に要請したい。市道については、今年度緊急補修したが、改めて点検し19年度予算で対応したい。②今後も地権者と移設以外の方法がないか検討したい。③新座市側の都市計画道路がつながる22年頃を見据え、歩道を外し白線で暫定措置をするのが安全と考えており、その方向で計画していきたい。

——都立六仙公園予定地内の市有地は「無償ではなくぜひとも買ってもらうべき」との市民の声に、どう応えるのか。

**市長**　東京都に用地を買収してほしいと言い続け、今後もこの考え方を踏まえて協議を継続していきたい。

### 市民の都立六仙公園署名意志尊重を

**仲　議員**

——都立六仙公園は、湧水涵養機能などの環境資源、災害時の広域的避難場所として整備する必要があると考えるが。

**都市建設部長**　湧水や緑、防災拠点、レクリエーションの場、美しい景観として次世代に引き継ぐために、東京都が都市計画決定した。

**企画経営室長**　19年度の広域行政圏協議会事業計画に早期整備の推進を盛り込むべく協議中。今後とも努力を重ねていきたい。

——滝山商店街先から西団地南交差点までの歩道部分に街路樹の根が張り出しているが、計画的な整備を。

**都市建設部長**　19年度予算の中で対応したい。

——黒目川上流親水化の今後の整備見通しは。

**環境部長**　新青梅街道から柳橋間のAゾーン、1kmを4つのゾーンに分け、それぞれの区間の特性を生かしつつ、4年かけて整備を推進したい。

### 三多摩格差是正を！

**沢田　議員**

——都立六仙公園の計画区域内の市有地は、無償貸与ではなく買ってもらうとの認識で変わりはないか。

**市長**　行財政運営上、ぜひ当該用地は買収してほしいと要望してきており、今後も強く要望していきたい。

——23区だけにある都区財政制度は三多摩格差の最たるものであり、制度の抜本的改革を求めるべきと考えるが、取り組みは。

**市長**　東京都市長会の会長より直接都知事に要望書を提出しており、強く善処を求めていくことは、市長会全会一致の考えである。

——市道整備のための、①年次計画策定、②基金の創設について見解は。

**都市建設部長**　①道路の維持管理を効率的に行うため策定した市道点検要領に基づき、市民要望、請願・陳情採択個所を踏まえた5カ年の整備計画を作成した。

**企画経営室長**　②現時点では困難であると考える。

### 14823人の署名の重さを！

**上田　議員**

——都立六仙公園内の市有地は、無償貸与でよいとの前市政の意向を撤回して、東京都に買収を強く働きかけるべきと考えるが。

**市長**　行財政運営上、ぜひとも買収してほしいという依頼をしており、今後とも強く要望していきたい。

——イオン進出の現況と今後のスケジュールを伺う。

**都市建設部長**　事業者が行っている環境アセスメントの評価案のまとめが間もなくでき、建築プランや市の地区計画にかかわる素案等が提示できる段階で、市民等へ情報提供したい。現計画では20年春のオープンに向け取り組んでいる。

——なかまの家・杉の子第二福祉作業所の東京都への振興基金の手続きは正当か。

**企画経営室長**　授産施設としての機能を果たしている両施設は東京都の条例に基づき申請手続きが行われたものと思料している。

## 民主・市民ネットワーク

### 教育現場も改革を！

**富田　議員**

——教育について、①公立学校は、硬直的で閉鎖性が強いことなど批判が多い。解決手段の一つとして、学校評価制度の充実を、②LD（学習障害）・AD/HD（注意欠陥/他動性障害）・高機能自閉症の生徒支援に関する課題は、③以前指摘した中学生修学旅行の契約は競争性のある契約に改善されたか。

**教育部参事**　①提示された他自治体の取り組みも踏まえ、工夫していきたい。

**教育部長**　②就学前は、教育・福祉・保険・医療等の一体的な相談支援チームの構築。就学後については、個別の教育支援計画等が挙げられる。③2社以上の企画提案書を提出させて選定するよう指示し、概ね指示通りの結果が得られた。

——市役所休日開庁について、18年度中の実施は。

**総務部長**　実施できるよう調整すると答弁はしたが、厳しい。

——冗談ではない。

**総務部長**　厳しいが、関係部局と調整を図っていく。

### 空虚な施策に時間を費やすのは無駄

**中野　議員**

——市長の公約である人材バンクとは、どのようなものを考えているのか。

**市長**　現在、先進的運営をしている他自治体も参考にして検討中。今後、本市の環境を踏まえ、他の施策との整合なども考慮した運営形態を検討していきたい。

——17年度の決算審査の際に市長が述べた「地域課題」とは、具体的に何か。

**企画経営室長**　少子高齢化に伴う諸問題、ごみの問題、安全安心の問題等を始め、市民が地域で日頃感じている問題等、すべてが地域課題ではないかと考える。

——わくわく健康プラザに移転した郷土資料室の今後の整備計画は。

**教育部長**　19年8月に、考古資料を主体とした展示室を中心にして、民具の一部、昆虫標本コレクション、写真コレクション、文献資料などを収蔵しながら展示する保管展示室の開設を考えている。

### 高齢者の就労支援に適切な対策を

**白石　議員**

——職員の定員適正化に関して、団塊の世代の大量退職に対応した人材育成計画策定の時期は。

**職員課長**　18年度中に基本方針の詰めを進めていきたいと考えており、年度内に計画を示すのは難しい。

——高齢者の就労支援に関して、①シルバー人材センターと、②市長の公約である人材バンクへの対応は。

**健康福祉部長**　①今後、同センターが登録者及び市民ニーズを的確に把握して対応する自主独立的な事業を展開していけるよう多用なサポートをしていく。

**市長**　②職員を先進市に派遣し研究させている。今後も、他の選択肢も含め、広い視点から検討したい。

——手話通訳派遣有償化の再考を求める。

**健康福祉部長**　他施策との整合性や必要性に個人差が大きく反映することから1割負担とした。法の趣旨からも理解願いたい。

落合川のコサギ　写真提供：帯金 毅氏（中央町在住）

### 乳幼児医療制度の所得制限撤廃

**杉原　議員**

——東久留米市の乳幼児医療制度の所得制限撤廃が従来の1歳未満から2歳未満に拡大されたが、都内23区と多摩8市では就学時まで所得制限はない。また、隣接市も3歳や5歳未満ということで既に実施していることなど、多くの市民から他市区と比較して大幅に遅れているという指摘を受けている。私の調査では約3千万円でこの政策を行うことができる。このように少ない費用でこの市を将来発展性のあるまちにするため、19年度予算において、この制度の所得制限撤廃を就学時まで完全実施すべきと考えるが。

**市長**　今年度、子育て支援施策の充実として所得制限撤廃を2歳未満児まで拡大し、負担の軽減を図ってきた。今後の考え方は、方向として国や都の状況、市の財政状況などを踏まえ、制限の撤廃を拡大していくべきとの考えを持っている。

## 日本共産党

### 実態を踏まえ移動支援の改善を

**原　議員**

——障害者移動支援について、上限20時間を超える人の個別相談に応じ対応を。

**健康福祉部長**　個別の相談を全く否定するつもりはないが、現在の形で進めながら内容の分析等をし、改めて考えていきたい。

——障害福祉計画は、今後の市の障害福祉を左右する。素案を公表し、パブリックコメントなど市民の意見をいつ聞くのか。

**障害福祉課長**　現在、素案の作成が遅れており、未定である。

**健康福祉部長**　市の計画を2月に東京都へ提出という厳しいスケジュールの中、残された時間で最大限の努力をしたい。

——子どもの権利条約に基づく取り組みとして、子ども議会の実施を。

**企画経営室長**　2月10日（土）に開催予定。議員になる生徒について各中学校長に推薦依頼している。

### 差別的な融資制度は問題

**渡辺　議員**

——市内でのいじめの実態把握と対応策は。

**教育部参事**　日ごとに学校から報告があり、発生時には逐次報告が入る仕組みをつくっている。17年度の東京都への未解決事例の報告は中学校で1件。18年10月～11月には、学校・学級での人間関係に起因する問題も含めた実態調査を行い、この結果を受け、必要に応じ教育相談員や関係機関の協力を得て個別に丁寧な対応に当たった結果、大半が解決を見ている。

——イオンなど大型店内へのテナント出店に対する新たな融資制度は、従来の市の資金融資が本人負担の利率を引き上げている中、金利を優遇している。差別的でおかしいではないか。

**市長**　新たなビジネスチャンスととらえて事業展開をしていきたいという方に対し、別途の支援も必要との視点で運転資金・設備資金を設定している。

### コミュニティバスの早期実現を

**石井　議員**

——高齢者福祉に関して、①制度改悪案により介護ベッドの貸付が受けられなくなった軽度者への購入費助成の内容は、②生活支援事業（配食サービス）は、効率的運用により利用者負担を増やさないようにすべき。

**健康福祉部長**　①移行措置を円滑に図り、利用者の生活の継続性を確保する観点から、東京都の補助制度を活用し、制度改正前の利用者が買い取る場合は、市が18年度に限り限度額範囲内で経費を助成する。②19・20年度に基本料金等の改定を予定するが、配送エリア・ルートの見直し等も含め、現在検討している。

——コミュニティバスの導入計画について伺う。

**都市建設部長**　他市では大きな赤字を背負い運行しており、市として具体的な取り組みができない状況。市内都市計画道路網の整備に合わせ、バス事業者に路線拡大を要望していきたい。

## 社会・市民会議

### 個々のニーズに応じた福祉サービスを

**間宮　議員**

——高齢者福祉に関し、18年度で終了する「生きがいデイサービス」利用者への19年度の対応は。

**介護福祉課長**　わくわく健康プラザで実施予定の特定高齢者通所事業を利用できるように、一人ひとり丁寧に説明していきたい。

——次世代育成支援行動計画は、市立幼稚園の21年3月閉園等、実情と計画にそごが生じている。審議会を設置し、早急に計画の見直しを行うべきと考えるが。

**市長**　計画の見直しは必要と思っている。今後、どのように考えるか担当と十分協議したいと思う。

——10月施行の地域生活支援事業は見直すべきと考えるが、18年度中に作成される障害福祉計画に縛られず変更・見直しができるか。

**健康福祉部長**　財源的に裏打ちされて示された3年間は、計画する方向で進めたいと思うが、社会情勢の変化があれば、それに応じた対応をしたいと思う。

### 街づくり、市民の手に取り戻そう！

**馬場　議員**

——わくわく健康プラザでの乳幼児健診に臨時送迎バスの運行はできないか。

**市長**　提案の趣旨は理解するが、総体的に判断すると実施には課題がある。

——イオン誘導に係る都市計画マスタープランに関し、①地区計画は「土地利用等について地区住民の合意を得て決定する」とある。いつ合意を得たのか、②南沢五丁目地区の適用すべき地区のイメージは、良質な住宅宅地供給等を進める新市街地開発地区である。この流通業務地に大規模小売店舗立地ができるのか。

**助役**　①都市計画法第16条で規定されている意見を聞く機会等は、今後、設けていく考えであり、正式にはこれからの合意である。

**都市建設部長**　②当該地は、計画のより上位にある骨格構造の中で「土地利用の転換を誘導し、新たな産業拠点として育成します」とあり、計画に沿っているものと考える。

### 故稲葉前市長は約束していません

**桜木　議員**

——市内循環バスの実施は、市長の政策判断に尽きる。せめて、上の原団地から昭和病院まで乗り換えなしで行けることを望むが。

**市長**　現下の財政状況を考えると実施は難しい状況だが、今後も近隣市の状況や情報収集は行っていく。

——都立六仙公園計画区域内の第八小用地無償貸与に関し、市長は9月の予算特別委員会で「土地は無償貸与である、これが合意事項ととるのが一般的ではないかと思う」と答弁している。確認するが、東京都と市の合意事項だったのか。

**市長**　庁内合意事項ではないし東京都と協定等も結んでいない。

——第八小を中心とした中部地域学校再編成方針を3月定例会までに出せるか。

**教育長**　現段階で時期を明定するのは難しい。六仙公園の進捗状況・受け入れ校施設整備の全体計画等を見定めて進める必要があると考える。

## 環境市民派無所属

### 許せない　過大すぎる公共工事

**池田　議員**

——公共工事の内訳明細書の開示は遅れているが、今後の公開を確認したい。

**都市建設部長**　26市で機密文書扱いの約束事だが、協議が成立すれば公開する。

——職員に、市民から給料が出ているという意識教育の必要があると思うが。

**総務部長**　新規職員を中心に税の基礎等を学んでいる。今後も研修を進める。

——東京都が①土管を通し湧水の場所を移動するのは、落合川の自然をさらに破壊していくという認識は、②地蔵橋に15ｍの杭を打ち込むのを見過ごすのか。

**市長**　①崖線や窪地からの湧水とは異なると理解。

**都市建設部長**　②新河川両サイドの荷重を支える杭でやむを得ない措置と理解。

——生ごみ脱焼却等で残りは資源化になる。柳泉園の財政負担解消策の考えは。

**環境部長**　将来計画の中に発生抑制、減量・資源化を盛り込む必要がある。

## 久留米ハートネット

### 私を捨て、公に尽くすの精神で

**宮川　議員**

——19年度予算は、改革をさらに推し進めるのか、それとも改革を投げ捨てて元に戻るのか、その方向性を示す予算である。その判断基準が財政調整基金を入れるかどうかにかかっていると思うが。

**企画経営室長**　財政危機宣言解除後も依然として財政の厳しさが続く。しかし財政調整基金を経常経費に充当すべきでないという考えを基本に考えていく。

——19年度予算、現段階でどれ位の歳入不足が見込まれるのか。

**財政課長**　一般財源ベースで約24億円の不足がある。

——障害者自立支援法という新しい制度になっても、これまでと同様のサービスが受けられるように、一定の対応が必要だと考えるが。

**健康福祉部長**　自立支援給付の認定審査会における判定状況は、2次判定における上位区分への変更率は35・2％で、区分がダウンした事例はない。